

# 2026年度 受講案内

2026年10月～2027年2月(全11回)

## ■ 受講者の声



オムロン株式会社  
IABカンパニー  
生産SCM本部  
生産革新センタ  
生産技術部  
鍋島 広昭 様

### 現場の「コト」を正しく捉える大切さ

#### 自動化はゴールじゃない

ただ機械を入れればいいわけじゃないんです。  
自動化はあくまで手段。その前にIEを使って、現場のムダを省いて流れをきれいに整える(整流化)ことが、一番大事なんだと再認識しました。

#### 「モノ」の提案から「コト」の提案へ

これまでは自社の設備やソフトという「モノ」の紹介に偏りがちでした。  
でも、本当にお客さんに貢献するには、現場で何が起きているかという「コト」を論理的に分析して、改善案をセットで示せる力が必要なんです。

## ■ 開催概要

参加料	日本能率協会法人会員	会員外
早期申込割引 参加料 (6月30日(火)迄)	693,000円/人 (税抜:630,000円/人)	748,000円/人 (税抜:680,000円/人)
通常参加料	715,000円/人 (税抜:650,000円/人)	770,000円/人 (税抜:700,000円/人)

※参加料には教材費・資料費、試験料が含まれております。通信費・ソフト購入費・交通費・宿泊費などの費用は含まれておりません。  
※法人会員ご入会の有無についてはHPをご確認ください。(https://member-list.jma.or.jp/)  
※参加申込規定はJMAマネジメントスクールのHP (https://school.jma.or.jp/)に掲載しておりますので、ご確認・ご同意のうえお申込みください。

### 対象

生産・製造部門のマネジャー、リーダーとその候補者  
社内研修講師、ものづくり教育担当

※製造・生産部門や関連部門での実務経験が5年以上の方、改善・改革業務を行われたことのある方を主に対象としております。  
詳しくはお問い合わせください。  
場合によりお申込みをお断りさせていただくこともございます。予めご了承ください。

### 会場

- 会場参加は日本能率協会研修室(東京都港区芝公園)を予定しています。
- 第2回・3回はZoomを使用したオンライン受講形式になります。  
※お申込みの前に必ずオンラインLIVEセミナー規約をご確認ください。  
https://school.jma.or.jp/pa/ca0rE
- 第5回は現地での工場視察を予定しています。 ※日程および訪問先は調整中
- 第10回・11回の会場は現在調整中です。
- 状況により会場を変更する場合がありますので、予めご了承ください。

### 催行人数

11名に満たない場合、開催を中止することがあります

### キャンセル規定

お申込み後、参加者の都合にてキャンセルされる場合、下記の規定によりキャンセル料をご請求いたしますのであらかじめご了承ください。

- 参加料の10%：開催30日前～8日前(開催日を含まず起算)  
※但し、「テキスト、IEインストラクターマニュアルのいずれか」を小会から発送した時点で参加料の30%
- 参加料の30%：開催7日前～前々日(開催日を含まず起算)  
※但し、「テキスト、IEインストラクターマニュアルのいずれか」を小会から発送した時点で参加料の50%
- 参加料の100%：開催日前日および当日

## 生産革新のプロフェッショナルを養成する

# IEプロフェッショナル養成コース

第54回 IE士養成コース 旧名称:生産革新プロフェッショナルコース  
(Industrial Engineer IE士資格認定制度 全日本能率連盟資格登録第25号)

### さらに 特典講義として JMAオンラインセミナー

- 特典1 IE基礎テクニック習得コース(全5単位 約23時間)
- 特典2 IE基礎分析手法習得セミナー(約2時間30分)

が「無料」で受講できます!

### IE士 資格認定要件

#### 合格必須要件

- IE士認定試験(筆記試験):90分間
- 総合演習プレゼン
- IEインストラクター実践演習(模擬講義)
- 個人面談

#### 合格参考要件

- 出席率
- 課題提出率

### IE(インダストリアルエンジニアリング)とは

- IEは、生産現場の動作研究を行う技術として生まれました。
- 人・設備・材料・手段・情報の統合されたシステムを設計し、改善し、定着化するための基礎的な管理手法です。

### IE士資格とは

IEに関する知識に加え、自社の強み、エンジニアリング&サプライチェーン全体の流れを視野広く捉えた知識を持ち、生産革新を実現する行動ができるリーダーシップを持つ人材と認定する資格です。

### 過去の参加企業(一部抜粋・順不同)

- 電機・電気・電子、半導体、精密機器  
オムロン/オムロンヘルスケア/京セラ/  
シチズン電子/新川センサテクノロジー/  
セイコーエプソン/ダイヘン/ナブテスコ/  
ニコン/迫リコー/日立製作所/  
日立ハイテクマニファクチャ&サービス/  
マブチモーター/ミスミグループ本社/  
三菱電機/リコーインダストリー
- 自動車、自動車関連部品  
アルプスアルパイン/エフシーシー/GMB/  
トヨタ自動車/日清紡ブレーキ
- 繊維、化学、金属、素材  
旭化成/カネカ/グンゼ/堺化学工業/住友金属鉱山/  
帝人/東レ/ポリプラスチックス/レゾナック
- 医療機器・医薬品  
ダイト/帝人ファーマ/テルモ/長野オリンパス/  
日廣薬品/ロート製薬
- 設備・空調、建築、エンジニアリング  
アルバック/川重冷熱工業/  
CKDフィールドエンジニアリング/  
積水エンジニアリング/ダイキン工業/大成建設/  
東京電力ホールディングス/ハマイ/ノーリツ
- その他  
オリエンタルランド/河合楽器製作所/グローブライド/  
大和グラビヤ/タニタ秋田/タマス/凸版印刷/  
阪急阪神エクスプレス/両備ホールディングス/YKK  
など

### まずは、お問い合わせください!

#### お申込みに関すること(参加証・請求書・キャンセル・変更など)

JMAマネジメントスクール  
TEL:03-3434-6271(受付時間:月～金曜日 9:00～17:00 祝日を除く)  
E-MAIL:seminar@jma.or.jp

#### プログラム内容に関すること(研修内容・受講形式など)

一般社団法人日本能率協会 IEプロフェッショナル養成コース事務局  
TEL:03-3434-6616(受付時間:月～金曜日 9:00～17:00 祝日を除く)  
E-MAIL:seisan@jma.or.jp

#### パソコン(各種検索サイト)からのダイレクトで

セミナーID(半角数字)  で検索

もしくは <https://school.jma.or.jp/>

#### スマートフォン、タブレットから

※貴社の情報セキュリティ方針等でwebからのお申込みが難しい方はJMAマネジメントスクールまでお電話にてお問い合わせください。 TEL:03(3434)6271



JMA 経営革新を推進する  
一般社団法人日本能率協会



# 理論・現地現物・実践・異業種交流で学ぶカリキュラム

## ●コースのねらい

### POINT 1 IE技術の実践力と応用力の体得

IEの概念論だけでなく、実践的かつベーシックな改善手法を体系的に学び直します。現場経験のみでIEを学習したことのない方も安心してご活用いただけます。サブ教材として「IE基礎テクニック習得コース」「IE基礎分析手法習得セミナー」の特典講義(オンラインセミナー・無料)もついています。

### POINT 2 ものづくり全体最適を見据えた広い視野の獲得

生産・製造だけでなく、開発・購買・物流などサプライチェーン全体を俯瞰した知識や、経営・現場の管理・評価手法やマネジメント、競合との差別化等の経営戦略なども学び、目先の現場改善ではなく、工場そして企業全体の改善活動へ視野を広げます。

### POINT 3 社内インストラクターとしての指導・育成能力の習得

IE基礎テクニックの教え方や、すぐに使える分析シート等を収録した「IE教育の虎の巻」「IEインストラクターマニュアル」は、社内研修でも利用でき、講師としてのスキルアップが図れます。

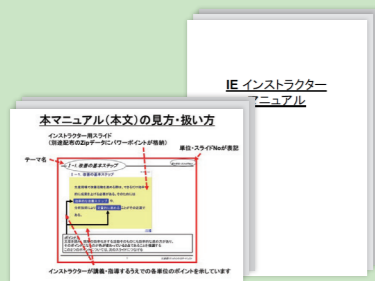
### POINT 4 異業種交流における他社(者)視点からの気づき

演習や交流セッションを通じて、異業種間の視野・視座・視点の変化を促進します。

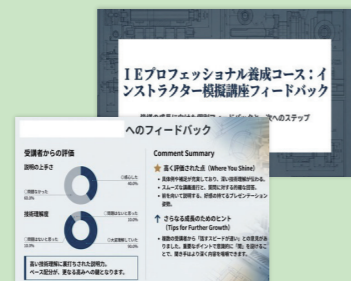
### POINT 5 現地現物による他社実践事例の分析と活用

工場視察や企業による事例講演を通じ、他社のリアルな改善プロセスや現場の工夫といった具体事例を直接学び、生産改革への引き出しを増やします。

## ●コースのアウトプット



IEインストラクターマニュアル



IEインストラクター演習フィードバック



総合演習資料



## ●プログラム概要(2026年度予定)

(全11回 + 講義動画受講)

回	日程	テーマ	各回のポイント	
1	2026年 10月2日(金) 会場受講	オリエンテーションによる導入 1) 受講者・講師による自己紹介 2) コース概要の説明 3) 初日終了後は懇親会を開催 OBの活躍状況を知る 1) 2025年度はデジタル活用に関する事例講演(旭化成様)	IE士資格 認定要件項目	オリエンテーション 事例講演 懇親会
2	10月23日(金) オンラインLIVE受講	生産革新実現のために視野を拡大する(第2単位) 1) ビジネスモデルに基づくQCD目標の設定 2) 開発・生産融合の超垂直立ち上げ技術 3) マネできないものづくり戦略の考え方 ものづくり力強化による競争優位を実現する(第3単位) 1) 顧客要求と経営効率を向上させる製品供給力の強化(SCM) 2) 調達コストダウン		講義動画事前学習 グループディスカッション
3	11月12日(木) オンラインLIVE受講	ものづくり力強化による競争優位を実現する(第4・5単位) 3) 人と設備を対象とした生産システム改革と人材活用(第4単位) 4) 構内物流改革、材料歩留まり改革のアプローチ(第5単位)		講義動画事前学習 グループディスカッション
4	11月27日(金) 会場受講	生産革新実現のためのマネジメント技術・リーダーシップを習得(第1単位) 1) ものづくり改革のためのマネジメント技術 ケーススタディ 課題を認識(総合演習 STEP1) 1) 工場全体の概要を把握し、課題を認識 2) 課題認識をもとに、生産性向上を行うべき職場を選定	総合演習	講義動画事前学習 グループディスカッション
5	11~12月 半日(調整中)	他社工場を見る 1) 現地現物で実際の(他社・他業種)の現場でIEの取り組みを体験 2) 2025年度は愛知機械様を見学		工場視察
6	12月17日(木) 会場受講	ケーススタディ 仮説を設定(総合演習 STEP2) 1) 対象職場の概要や課題認識・改善方向仮説を設定 IEインストラクターの練習・準備 1) IEインストラクターとしてのIE基礎テクニックの教え方を練習・準備	総合演習	IEインストラクター 練習・準備
7	12月18日(金) 会場受講	IEインストラクターの実践演習 1) IEインストラクターとしてのIE基礎テクニックの教え方を実践 試験対策講義の受講	IEインストラクター 実践演習	
8	2027年 1月28日(木) 会場受講	ケーススタディ 分析手法の検証(総合演習 STEP3) 1) 仮説を検証するための分析手法の選定と実施によりロスを定量化 2) 定量化されたロスを改善するための生産方式案を抽出	総合演習	
9	1月29日(金) 会場受講	ケーススタディ 改善案の立案(総合演習 STEP4) 1) 改善案の実施可能性を検討し、改善案を立案(実行可能アイデアの選択) 2) 実行計画を策定するとともに、推進体制を構築するメンバーへ伝達 試験対策講義の受講	総合演習	
10	2月25日(木) 会場受講	ケーススタディ 提案書の作成(総合演習 STEP5) 1) 検討した生産方式改善の有効性を伝えるために提案書を作成 個人面談 1) コース内容をどのように社内へ活かしていくか面談	総合演習 個人面談	
11	2月26日(金) 会場受講	ケーススタディ 改善案の提案(総合演習 STEP6) 1) 検討した生産方式改善の有効性をプレゼンテーション IE士認定試験(筆記試験)	総合演習 IE士認定試験	受験

講師から皆さまへ



角田 賢司  
(株)日本能率協会  
コンサルティング  
シニア・コンサルタント

「IEプロフェッショナル養成コース」では、IEだけに限らず、幅広い知識を身につけていただけるような工夫をしています。

例えば、購買の領域やサプライチェーンの領域、あるいは品質、量産立ち上げといったテーマも取り入れ、製造現場のみならず、周辺領域にまで視野を広げていただくような講義内容となっています。

この研修で学んでいただき、IE士として認定されれば、現場で使える手法がたくさん身につくだけでなく、これまでと比べて実践力も高まった状態でそれぞれの職場に戻っていただくことができ、活躍の場がさらに広がると思います。

講師陣は **現役の** 生産革新コンサルタント!

角田 賢司 日本能率協会コンサルティング シニア・コンサルタント 武田 啓史 日本能率協会コンサルティング シニア・コンサルタント  
石田 秀夫 日本能率協会コンサルティング シニア・コンサルタント 伊庭 栄 日本能率協会コンサルティング シニア・コンサルタント